海星中学校学校だより

海星

令和７年４月２５日（金）発行　第１号

４月巻頭言

令和７年度チーム海星、海星プライド
「まだ見ぬ高みを目指して」

薩摩川内市立海星中学校
校　長　　木之下　悦朗

令和７年度がスタートして１か月が過ぎようとしています。新入生５名を迎え、全校生徒20名となりました。また、今年度も特別支援学級「うみ組」、「ほし組」の２学級を含め、５学級になりました。職員は15名になりました。去年にも増して活気のある学校になりました。部活動においても成長がみられました。少人数でもひるむことなく、学んだことを最大限に発揮して、やり切ってもらいたものです。

さて、私は過去に12年ほど学校現場を離れ、県立埋葬文化財センター等で働いていた時期がありました。発掘調査や遺跡・遺物(土器や石器等）を図面で復元したり、報告書を作ったりしていました。その中でも、特に嬉しかったのは、発掘調査で、発掘作業員の方々と力を合わせて頑張ったことです。ほとんどが50歳後半から70歳までの方々で、退職後、この仕事に憧れて応募した方が多く、中には休職したり、それまでの仕事を自分の子供に任せたりして発掘作業に加わる方もいました。職種も様々で、元教育関係者や会社の社長、元郵便局長、元県市町村職員、電気設備業社長、大工、元土木作業員、元重機のオペレーター等様々で、私は、発掘作業員の方々の得意な分野を生かしながら作業を進めていきました。初めての方は、先輩から教えてもらいながら作業を進めていました。遺物（土器や石器等）、遺構（昔の建物の一部）を見つけると発掘現場が沸き立ち、お互いの頑張りを褒め合い、いつしか一つの家族のようになっていきました。

「今日は、昨日よりいい発見をするよ！」、「〇〇さんには負けられないからね！」と、にこやかに、お互いに競い合うようなおしゃべりが日課になっていました。全員が毎日出勤するのが楽しみだと言っていました。発掘作業でわからないことがあっても、お互いに助け合う雰囲気があり、その雰囲気はとてもよかったなと今でも思います。また、現場責任者の私が困っている時は、発掘作業員の方が助けてくれました。そのような中で、私は人と人とのつながりのありがたさを心から感じることができました。今、振り返ると、あのときの私がそのように感じることができたのは、日頃からお互いを想い、お互いの気持ちを考えて、相手の状況を配慮して、最適な対応をしてあげたいという真心が全員にあったからだったと思います。それぞれの得意分野での活躍を認め、頼り頼られながら、お互いの性格に合わせた対応をする発掘作業員の先輩方の姿から、私は、相手を思いやる心の細やかさを持たないといけないと思い、毎日、感謝しながら発掘していきました。

悪天候や猛暑の中であっても、日程の関係で無理を言って発掘作業をお願いすることもありましたが、私は、発掘作業員の方々を大切に思い、頻繁に休憩を入れるなどして、無理をさせないようにしていました。想定以上に厳しい状況になる場合は、室内での遺物の洗浄作業に切り替えるなどして、高齢の方々の体力や安全に気を使いながら、発掘作業を進めていきました。おかげで、私が担当する発掘する現場は、考古学の常識を覆すような発見や鹿児島で初めての発見が多く、遺跡で現場説明会を開くことも多くありました。これは、十分な知識や経験のある職員がいたことや、発掘作業員の方々の全員が、わずかな変化に気づくだけの知識をもっていたこともあったのですが、それ以上に、日頃から情報交換がとれる人間関係ができていたからこそ成しえた結果だったと思っています。

これらことは、すでに海星中ではできていることだと思いますが、日頃からお互いを理解し、お互いを思いやる雰囲気、お互いの個性を理解した対応を続けていけば、みんなが、それぞれの高みに行けることでしょう。文頭では部活動の頑張りを書きましたが、学習面でも、昨年度は鹿児島学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査で多くの教科が全国平均を超えていました。また、あいさつに関しても、海星中の生徒からあいさつをされると「生きる励みになる」と上甑の方々もおっしゃっていました。「今まで当たり前に（普通に）続けてきたことが『頑張っている』と言われるのだけど、それって本当に『頑張っている』ことなのかな？」と思う人は「本物」です。本校はあいさつで、そう思っている人はたくさんいることでしょう。それを学習やそれ以外の事でも増やしていきましょう。忘れないでください。本気を出して頑張った事は、必ずどこかで結果が出ます。今日明日に出ることもありますが、１年後、２年後に出るかも知れません。でも、その頑張りは島立ち後に役立つことは確かです。それが当たり前で普通のことになれれば「本物」です。今年も、生徒のみなさんがどんな頑張りをするのか楽しみです。それぞれの頑張りを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様におかれましては、旧年度より学校内外で学校を支えていただき御礼申し上げます。令和７年度は本校職員の７名が入れ替わりました。新しい職員の知識と経験を生かしながら、新たな学校創りを目ざし頑張っていきます。
今後ともいろいろな場面で，お世話になると思いますが、惜しみないご協力をお願いします。

第48回入学式

４月７日（月）に第48回入学式が行われ、今年度は５名が海星中学校に入学してきてくれました。厳粛な雰囲気の中で行われた入学式では５名とも緊張していた様子でしたが、皆、しっかりとした態度で式に臨んでいました。その姿はとても立派でした。

「新入生代表誓いのことば」では、岩元康樹さんが「中学校では、勉強や部活、あいさつを頑張りたいです。これから楽しく充実した中学校生活を送りたいです。」と述べてくれました。

新入生の皆さんも２・３年生の皆さんも、初心を忘れることなく、海星中学校での生活を充実したものにしていきましょうね！

新任式＆１学期始業式

４月７日（金）の朝、新任式と１学期始業式が行われました。新任式では、４月に海星中学校に転入してこられた７名の先生方の紹介があり、生徒代表の谷尾俐孔さんがとっても素敵な歓迎のあいさつをしてくれました。

始業式では、校長先生から「今年も、みんなで力を合わせて、頑張っていきましょう」とのお言葉をいただきました。「生徒代表決意のことば」で、３年生代表の四角太河さんは「自分の限界を作ることなく、勉強や部活動に精一杯取り組み、中学校生活の最後の１年間を悔いのないように頑張りたいです。」と述べてくれました。２年生代表の上野佳歩さんは「１年生のお手本となるような２年生になりたいです。今年は自分の苦手分野にもチャレンジして得意分野に変えたいです。」と述べてくれました。

この４月、２０名の生徒それぞれが自分なりの目標を考えたはずです。それを、ただの「絵に描いた餅」にすることなく、自分なりの方法で、実現につなげていってほしいと願います。

芋づくり体験

４月16日（水）の４校時は芋づくり体験の時間でした。今年は校庭に畑を作り、そこで芋を育てようと計画しています。

この日は、畑のうねに黒いシートを被せる作業を（生徒も先生方も）みんなで行いました。今年も、おいしい芋が育ってくれますように！

～ ～　芋づくりを行った日の生徒の日記より　～ ～

・　今日は、とても楽しみにしていた芋づくりがありました。しかし、いつもの場所ではなく、畑が移動して給食センター前にできていたのでびっくりしました。これからいい芋ができるように（教室から）見守りたいと思います。【２年生】

令和7年度教職員紹介

教　職　員　一　覧

	職名	氏名	主な校務分掌
1	校長	木之下　悦朗	学校経営
2	教頭	南木　純一	学校運営
3	教諭	上堀内　良晃	1年担任・数学・道徳・研修・特別活動等
4	教諭	野村　麻奈美	1年副担任・理科・教務主任・小中一貫教育等
5	教諭	坂元　倫子	2年担任・英語・家庭・国際理解教育等
6	講師	玉利　祐人	2年副担任・社会・人権教育・環境教育等
7	教諭	今藤　隆浩	3年担任・保体・技術・生徒指導主任・部活動等
8	教諭	堀　祐二郎	3年副担任・国語・進路指導主任・学業指導等
9	教諭	中野　智美	うみ組担任・社会・音楽・文化的行事等
10	教諭	芝元　隆	ほし組担任・美術・情報・特別支援教育等
11	養護教諭	橋口　玲奈	保健主任・学校給食等
12	栄養教諭	中村　美紀	学校給食全般
13	事務職員	川原　一貴	学校事務全般
14	学校主事	藤崎　百合	用務関係全般
15	司書補	中潟　真鈴	学校図書全般

5月の主な行事予定

月	日	曜	主な行事予定
5	1	木	・避難訓練（火災）
	8	木	・内科検診（全学年）・心臓検診（1年） ※職員会議のため５時間授業
	9	金	・第１回実力テスト（３年）
	10	土	・土曜授業・生徒引き渡し訓練
	12	月	・民生委員あいさつ運動 ※小中一貫教育合同研修会のため５時間授業
	13	火	・歯科検診（全学年）　・教育相談
	15	木	・教育相談
	18	日	・耳鼻科検診（全学年）13：15～長浜小
	19	月	※職員研修のため５時間授業
	20	火	・第１回PTA理事会
	21	水	・ふるさと職場体験学習（２・３年）
	22	木	・ふるさと職場体験学習（２・３年）
	25	日	・耳鼻科検診予備日
	26	月	・尿検査（二次） ※職員研修のため５時間授業
	29	木	・思春期教育（全学年）